

総合型選抜のポイント

日本体育大学 スポーツ文化学部 スポーツ国際学科/ 武道教育学科

掲載している内容は、過去に実施された試験について、受験生からの聞き取り調査をもとにまとめたものです。ポイントは、授業を担当する講師が指導上、重視する点を簡潔にまとめたものです。入試内容は、変更になる可能性があります。本年度の入試については、入試要項等でご確認ください。

◆出願書類の書式とポイント

●書式

- ・3つの項目について横書きで記述

①出願学科の志望理由 ②入学後の計画 ③高校時代に取り組んだ活動

- ・字数制限はないが罫線各8行、合計で800字程度になる

日本体育大学 令和6年度 総合型選抜 トップアスリート（競技実働）型 10月・2月 総合型選抜 課題探究型 総合型選抜 プレゼンテーション型		所定用紙 2 大学記入欄						
エントリーシート								
氏名	フリガナ	出願学科(コース)						
このエントリーシートは面接（プレゼンテーション）時の参考資料として使用します。								
1) 出願学科(コース)の志望理由について記入してください。								
<table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>								
2) 本学入学後の計画(学修や課外活動などに対する意欲や目標等)について記入してください。								
<table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>								
3) 高校時代に取り組んだ活動(部活動、資格取得、ボランティア活動等)について記入してください。								
<table border="1" style="width: 100%; height: 60px;"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>								

●ポイント

この内容をもとにして2分間の自己PRを行い、さらに10分間の面接が行われる。1つ1つの項目において、深掘されても明確に具体的に答えられるように、書類作成の段階で十分な資料集めを行い、論理構築をするといった準備が必要になる。

◆面接試験の形式とポイント

●形式 個人面接 一人約 10 分間

2 分間の自己 PR に続き、以下のような質問があった。

【スポーツ国際学科】聞き取り質問 5 選

- ・国際協力をしたいと思ったきっかけは。
- ・青年海外協力隊員としてどこの国へ行きたいか。
- ・青年海外協力隊員として任期満了後の人生設計は。
- ・開発途上国でしてみたい活動を具体的に。
- ・文化的・宗教的背景がある人に、スポーツを指導する場合、どのような工夫が必要か。

【武道教育学科】聞き取り質問 5 選

- ・学科志望の理由は。
- ・保健体育教師を目指すきっかけは。
- ・大学入学後の計画（学修・部活動・その他）を。
- ・高校生活で積極的に取り組んだことは。
- ・誰にも負けない自分の強みは。

●ポイント

ホームページ・入試要項・シラバスなどを参照し、スポーツ国際学科/武道教育学科の詳しい内容について答えられるようにしておくこと。面接官の質問を落ち着いて聞き、的外れな回答にならないように注意すること。暗記した回答文を棒読みするのではなく、自分の考えが正確に伝わるように大きな声でゆっくり話すこと。

◆小論文（資料分析型）の出題とポイント スポーツ国際学科

【2024 年度出題】試験時間 60 分

課題

ドーピングは、世界アンチ・ドーピング規程に定める規則違反の定義に違反することを指し、スポーツの価値をおとしめるとされています。そのため、国際競技会では 1966 年以來、ドーピングコントロールが導入されました。

しかし、現在でも依然としてドーピングを行う選手が存在しています。そのため、スポーツ界からドーピングをなくすための論議が継続されています。この効果的なドーピングの防止策について論議している会議で、次の二つの意見が出され、意見が分かれた場面を想定してください。

1) ドーピング防止は、各国が個別に取り組むべき課題であり、ドーピング防止に向けた国際的な協力をしても防止できない

め、各国での取組を重視すべきである。

2) ドーピングは、多様な国で起こっている。そのため、各国が個別に対応していたのではドーピングを防止することはできない。実行可能な対応策に関する国際的な合意をまずは取り付けるべきである。

この会議で提示されたデータ<図>は、2020年のドーピング違反を犯した選手の上位10の国の選手の国籍を示しています。

問. あなたが、この会議に参加しているとすれば、1) と 2) のどちらの意見を支持しますか。どちらを指示するのかを明記した上で、<図>から読み取れる内容を踏まえてその意見を支持する理由を説明しなさい。(600字以上 800字以内。横書き)

<図>については著作権法上の問題から掲載不可(2020年におけるドーピング違反のあった上位10カ国の選手数)

●ポイント

スポーツ文化学部スポーツ国際学科では、スポーツにおける「国際的な」話題が取り上げられる。国際貢献や国際交流、国際平和の実現にスポーツがどのような役割を果たすのかを理解し、表現できるように準備することが必要になる。とりわけ、オリンピズムやオリンピックムーブメントについては、具体例を交えて説明できるようにしておきたい。

◆小論文(資料分析型)の出題とポイント 武道教育学科

【2024年度出題】試験時間 60分

課題

現代は新型コロナウイルスのような感染症や自然災害、異常気象、AI(人工知能)の発達、急速なグローバル化など未来の予測が大変難しい社会となっています。

高等学校の学習指導要領では、このような現代社会で重要となる力は「生きる力」とされており、「生きる力」については以下のように記載されています。

「基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力」

「予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要である」

出典：「高等学校学習指導要領(平成30年7月告示) 解説 総則編」(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_1.pdf

問. 予測が困難な現代社会では「生きる力」が重要であるとされるが、武道の理念や精神を踏まえると、この「生きる力」はどのように身につけることができるか。あなたの経験を踏まえて述べなさい。

(600 字以上 800 字以内。横書き)

●ポイント

武道教育学科では、これまでの自己の活動をふまえて記述することが多い。過去には、「自分自身の専門種目に置き換えて説明しなさい」や「自分自身が行っている武道/伝統芸能に照らし合わせて説明しなさい」と問われていることから、武道や伝統芸能に対する気持ちや考えなどを整理しておく必要がある。

◆プレゼンテーション方式の形式とポイント（スポーツ国際学科のみ）

●課題

『本学科のアドミッション・ポリシーには「スポーツを通して国際相互理解や国際交流、国際支援、国際貢献が実現できるよう、眼前の課題に対して総合的かつ実践的な解決を真摯に探究できる者の入学を期待するものである。」とあります。それを踏まえて、あなたの将来の希望を実現させる為に、

「①高校まで行ってきたこと」「②大学 4 年間の学修」「③卒業後に取り組みたいこと」

について、それぞれの項目につき 1 枚のスライドで用紙(3 枚)に具体的に説明してください。

(表紙を含め提出スライドは合計 4 枚になります。)

●プレゼンテーション資料（出願時に提出）

Microsoft Power Point で作成したスライドを印刷したもの（3 部）

（データ形式：Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013/2016）

- ・スライドのサイズは「標準（4:3）」で作成。
- ・A4 用紙にフルページサイズ（1 ページに 1 スライド）で印刷。
- ・カラーで作成した場合はカラーで印刷してください。
- ・1 ページ目に出願学科・氏名・タイトルを記載した表紙を作成。
- ・スライド枚数は、表紙を含み 4 枚。
- ・図や写真の挿入は可能ですが、他の文献や書物等から引用する場合は、出典を明記。
- ・スライドに動画やアニメーションは使用しない。
- ・作成した資料は左上をホチキスで留めて提出。

●二次選考（プレゼンテーション）の実施方法

1) プレゼンテーションで使用する PowerPoint データについて

- ・二次選考では出願時に提出したプレゼンテーション資料を使用してプレゼンテーションを実施。
- ・あらかじめ大学側で動作確認（試写）を行うため、Web 出願時に PowerPoint データをアップロード。

2) プレゼンテーションの実施方法

- ・試験室には大学で Windows10、Microsoft PowerPoint2016 の PC を用意。
- ・プレゼンテーションに使用する PowerPoint はスライドショーの 1 ページ目を大学側でスクリーンに表示。
- ・試験室入室後、試験監督の指示により、演台に用意されている PC を受験者自身で操作し、プレゼンテーション（10 分）を実施。
- ・PowerPoint の「発表者ツール」機能の使用は可です。また、発表原稿が必要な場合は当日持参し。
- ・プレゼンテーションの終了 1 分前と終了時にベルでお知らせします。（終了 1 分前：1 鈴、終了時：2 鈴）
- ・プレゼンテーションの後、質疑応答（10 分）を実施。

●ポイント

自身の将来像を明確にすることで、理想を実現するための道筋が見えてくる。日体大でしか実現できない理由もあると良い。2 次試験の質疑応答については、プレゼンテーション内容についての質問に加えて一般的な面接の質問が混ざる。